



門司中だより

北九州市立門司中学校 学校通信
令和8年度 第2号 (R8.5.15)
発行責任者 校長 飯田 聖二
学校所在地 門司区丸山二丁目5番1号
TEL 093-321-3685

〇6月6日 体育大会に向けて

体育大会スローガン

Brush up ～革命門中 絆を武器に煌天へ～
ちやうてん

5月13日(水)4校時、体育大会に向けての全校集会がありました。

まず、今年度の生徒会スローガンを『Brush up』に決めた理由を生徒会長の堤さんが語りましたので紹介します。

今年度、門司中学校は創立30周年という大きな節目を迎えます。この記念すべき年にあたり、私たちはこれまでの歴史を振り返り、代々の先輩方が積み上げてくださった30年分の伝統を改めて大切にしたいと考えました。また、その伝統を「ただ守る(=現状維持)」とするのではなく、今の時代や自分たちの状況にあわせて、自分たちの手でさらなる「磨きをかける(=ブラッシュアップ)」ことが、よりよい門司中学校を創り上げていくために必要だと考えました。

これまでの伝統を大切にしながら、よりよいものへと進化させ、常に向上心をもって挑戦し続けるという決意をこのスローガンに込めました。

また、行事ごとに、スローガンにサブタイトルをつけることで、活動の指針とします。今回の体育大会のサブタイトルを『革命門中 絆を武器に煌天へ』に決めた理由を、2年副会長の竹下さんが語りましたので紹介します。

「革命門中」には、この体育大会を門司中学校のみんなで革命を起こす最初の一歩として頑張りたいとの想いを込めました。また、きらめ煌く天と書いて「ちやうてん煌天」と読むのは、煌く空を突き抜けるような美しい姿を見せてほしいという想いを込めました。

これから体育大会に向けての練習が始まっていきます。練習のときには、このスローガンを頭のど真ん中において、ともに頑張っていきましょう。

次に、3年副会長の松田さんが先頭に立ち、全校生徒の気持ちをひとつにするために『One Team』の掛け声を全員で行いました。

最後に体育・保健委員長の楠本さんから、『今年の体育大会は、安全に、楽しく、スポーツマンシップにのって、全学年の一人一人がしっかりと楽しんで、各クラスの結束も強まるような大会にしたいと思っています。みんなで盛り上げて、作っていきましょう!!!』との話がありました。

生徒会のみなさんが語った想いを全校生徒で共有し、皆さんの思い出に残る、そして門司中学校の歴史に残る体育大会を、創りあげましょう!

○朝の挨拶について

新年度が始まって1か月が経ちました。毎朝、正門に立ち、皆さんと挨拶を交わしていますが、最近感じていることなどをお伝えします。

【良くなってきていると感じていること】

- ・皆さんの挨拶の声が少しずつ大きくなってきていると感じています。
皆さんの「おはようございます」がはっきり聞こえるようになってきました。
- ・皆さんの挨拶の声の色が少しずつ明るくなってきていると感じています。
挨拶と一緒に笑顔も増えてきたと感じています。
- ・目線が合うことが増えたと感じています。
目線が合うと、心が通っていると感じます。

【感謝していること】

- ・毎朝、皆さんから元気をもらっています。ありがとう！
- ・皆さんの安全を守るため、車の出入りを優先して皆さんに待ってもらうこともありますが、気持ちよく協力してもらっています。ありがとう！

【考えてほしいこと】

- ・周りの人への配慮を
地域の方や小学生とすれ違うこともあります。どのような行動をとればよいと考えますか。

「挨拶は大切だ」ということは、頭では理解していることと思います。本当の意味で理解していると言えるかどうかは、行動次第です。気持ちの良い挨拶で、気持ちの良い一日をスタートさせましょう。

【保護者の皆様へ】

お子さまの送迎及び校門の開閉に関して、お願いがございます。

①朝の送迎について

朝の登校時間帯にお子様を自家用車で送迎される際は、必ず校門付近にいる職員の指示に従い、学校敷地内の駐車場にてお子様をお降ろしいたしますようお願い申し上げます。

門司中学校付近の道路は片側一車線と狭隘であり、朝の通勤時間帯に路上で停車されますと、交通渋滞を引き起こし、近隣の皆様のご迷惑となる可能性がございます。

何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

②校門の開閉について

生徒の安全確保と不審者侵入防止のため、教育委員会の指導に基づき、朝の登校時間帯と帰りの下校時間帯を除き、校門を閉鎖しております。これら時間帯以外に自家用車でご来校される際は、お手数をおかけいたしますが、校門の開閉にご協力をお願いいたします。校門を開けられた際には、必ず閉めていただくよう、重ねてお願い申し上げます。



※スナQのイラスト等に関する著作権・使用権は、北九州市に帰属しています。

上のイラストは、北九州市港湾空港局クルーズ・交流課の承認を得て掲載しております。